秋の叙勲
岡野千万（おかのかずま）さんが旭日双光章を受章

秋の叙勲で、箱田の岡野千万さん（73歳）が、笠間市議会議員としての永年の功績により、旭日双光章を受章されました。

岡野さんは、昭和51年1月、地域住民から推されて笠間市議会議員に当選して以来、5期20年の永きにわたり、広範にわたる豊富な知識と高邁な政治信念をもって、地方自治の発展および住民福祉の向上に貢献されました。

特に平成4年1月から平成5年12月まで、笠間市議会議長として、卓越した指導力を発揮し、議会の円滑な運営に尽力されました。

叙勲を受章した岡野さん

笠間の歴史探訪 3

天狗の棲む愛宕山

岩間の愛宕山（あたごさん）の頂上に愛宕神社があります。

大同元年（八〇六）徳一（とくいつ）大師の開山といわれています。県内の愛宕神社六十七社の中で創建年代は一番古い神社です。愛宕山は昔、風穴山（ふうけつざん）とも岩間山（いわまやま）ともいわれました。祭神は火の神、迦具土神（かぐつちのかみ）といいます。

女人禁制（にょにんきんせい）の山でかつては泉地区に女性が宿泊してお祈りするための女人堂がありました。

本殿奥の石段を上がった所に天狗を祀（まつ）る飯綱神社があり、その後ろに天狗の本拠地青銅の六角堂があります。神輿（みこし）型の屋根のてっぺんに瑞鳥（ずいちょう）がはばたき、堂扉には、菊の紋章が金色に輝いています。その奥に十三天狗の石の祠（ほこら）が並んでいます。

また、石尊（せきそん）様の岩場に「十戒、大天狗・小天狗」の文字が刻まれ、岩間天狗の修験（しゅげん）道場の姿を今に伝えています。

奇祭、悪退（あくたい）（態）まつりは旧暦の霜月（しもつき）十四日に行われる十三天狗が主宰する祭です。泉地区の氏子が天狗に扮して無言の行で臨み、隙（すき）を見て供物をせしめたものは、幸福になれると伝えられています。真夜中の祭ですが、今は昼間行っています。

国学者の平田篤胤（あつたね）は岩間の愛宕山で天狗の修業に励んでいた十五歳の天狗小僧寅吉（とらきち）を自宅に引き取り霊界愛宕山と天狗の様子をこと細かに聞き出し、『仙境異聞（きょういぶん）』という書物を文政六年（一八二三）に出版しました。占いの得意な神童寅吉の語る岩間の愛宕山がにわかに評判となり学者、文化人、江戸中の人々の関心を集め岩間山は一時にぎわいました。

「火伏（ひぶ）せの神」を祭る愛宕山には、多くの参詣者が、「火の要慎（ようじん）」の御札（おふだ）を求め、常陸の愛宕信仰の中心となりました。

現在、山麓（さんろく）参り坂からの車道右側に愛宕古道が落葉に埋もれて眠っています。岩石でゴツゴツした胸突き八丁の切通しの険しい道です。木漏れ日の中、足場に気をとられ、下ばかり見ていると、木々の間から天狗が覗いているかも知れません。

（市史研究員　松嶋繁（まつしましげる））

天狗のすみか六角堂
『図説 岩間の歴史』より転載

創業300年の歴史ある畳屋で修業してきました

畳工房ニタイラ
H22年1月オープン!!

見積り無料

・畳表替え……3,900円～
・襖張替え……2,800円～
・障子張替え(大) 1,780円～
・アミ戸張替え(大) 2,100円～

今年もたくさんのご愛顧ありがとうございます。
残りわずかとなりましたがよいお年を。

すべて国産品!!
変わった表も多数取り揃えております。

笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845